

KANUMA NO MEISHO

鹿沼の名匠

樋口喜巳

ひぐち

よしみ



樋口 喜巳

繊細な感覚と経験で、百種類を超える線香やお香を生み出す樋口喜巳さん。全国的にお得意様も多いのが樋口さんの作る線香です。

香料や粉の複雑な調合と、粉を練るこねの作業は樋口さんの腕の見せ所です。

使う材料は自然のもの。産地や季節で香りの強さや粉の状態が変わります。材料と作業する日の天候に合わせ、その都度混ぜる量を変えていきます。二十～三十種類の粉を混ぜ、最も加える量が少ないものは、材料全体のわずか一万分の一ほどです。経験から出来上がりを読み量を調整して、お客さんに「いつもの香り」を届けます。

線香は仕上がりの固さも重要です。種類によって異なり、固すぎると火が消えてしまいます。「こねの作業が一番難しいです。

粉に水やのりを加えていく、ここで出来が決まります。」と樋口さん。目と手の感触で確かめながら、長年の経験をもとに絶妙な具合を見るのが職人技です。

若い人にも興味を持ってもらい、香りを楽しんでほしいと願う樋口さん。伝統を守りながら、新しいものづくりにも取り組んでいます。一心堂オリジナルの白い線香「雪香」は、優しいミモザの香り。とちぎデザイン大賞で優秀賞を受賞しました。

「完成までには、何百もの香りを試作します。新しい香りは作るのではなく、出会う感じですね。どんな発見があるのか楽しみな未知の世界です」と語る樋口さん。次の試みは火を点けずに香りを楽しめるお香作り。新たな香りの世界への挑戦は続きます。

◆ 栃木の線香製作

☆ 鹿沼市